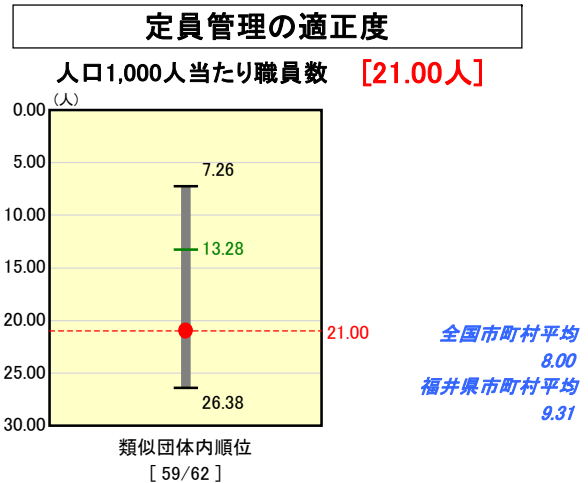
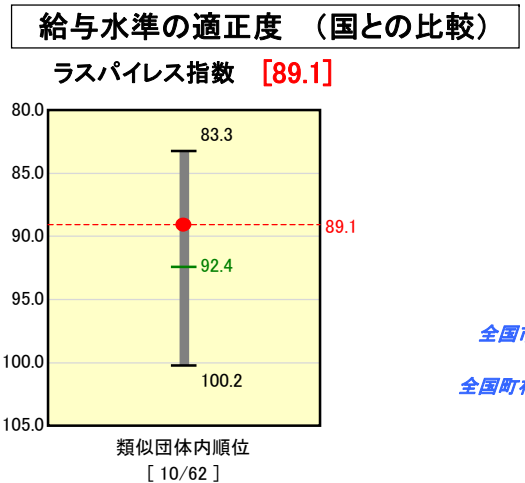
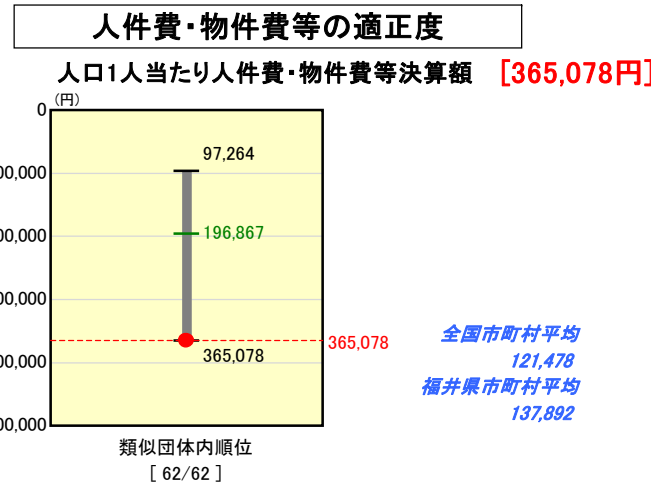
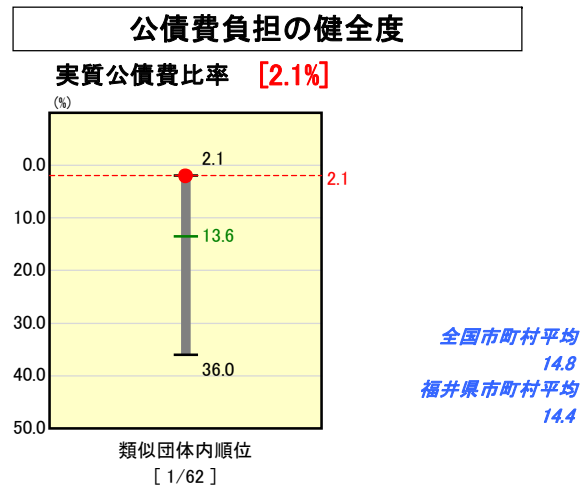
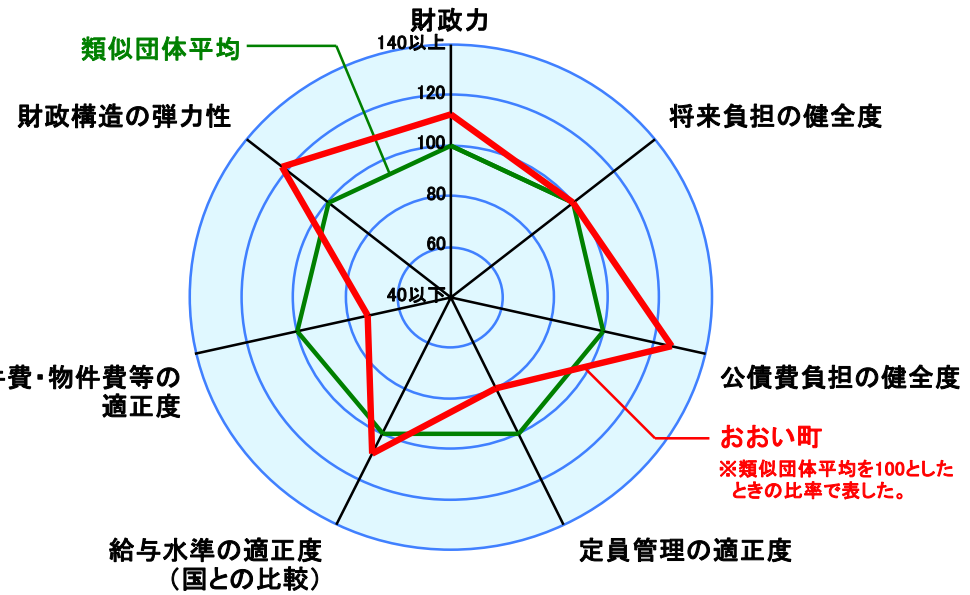
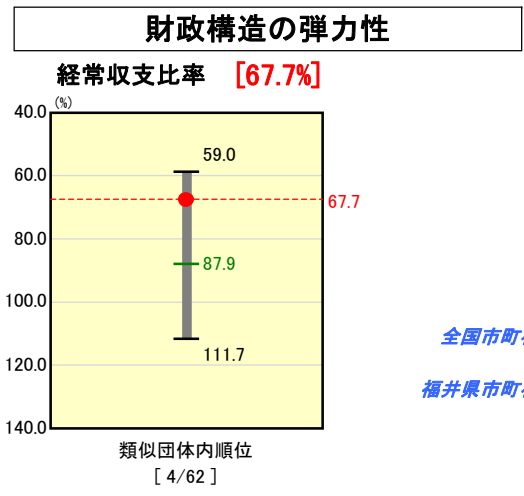
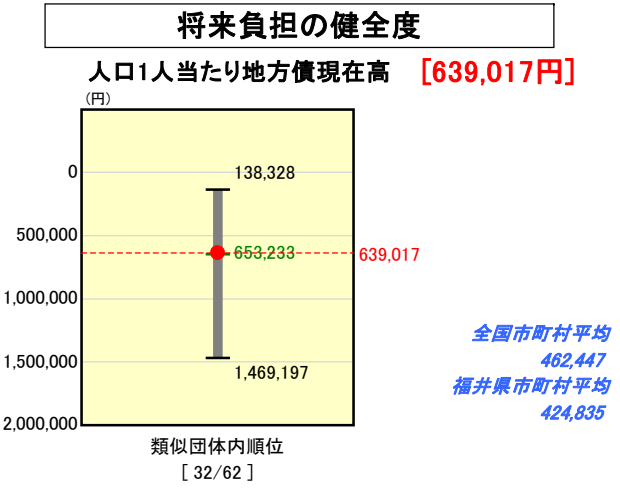
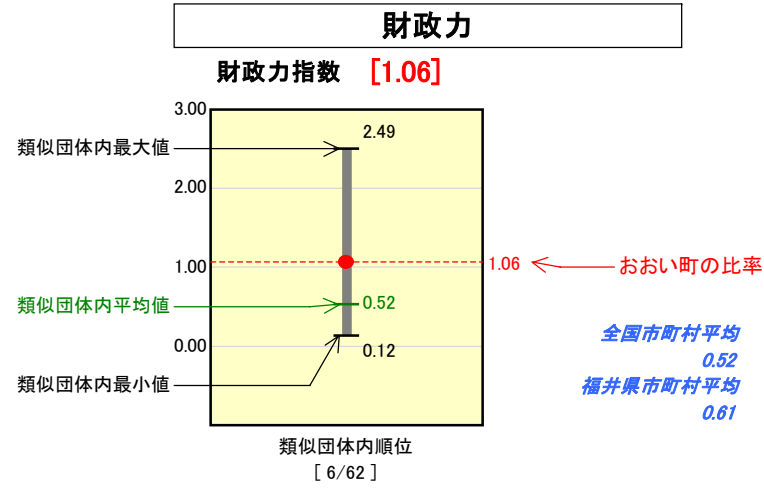


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福井県 おおい町

人口	9,141	人(H18.3.31現在)
面積	212.21	km <sup>2</sup>
歳入総額	13,823,140	千円
歳出総額	12,829,193	千円
実質収支	689,665	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

※平成18年3月3日、旧大飯町と旧名田庄村の合併により、おおい町となった。

- 財政力指数**  
原子力発電所立地により類似団体平均を上回る税収があるため1.06となっているが、今後大規模償却資産に対する固定資産税が年々減収していくことから、行政の効率化に取り組み財政基盤の強化を図っていく。
- 経常収支比率**  
原子力発電所立地という特殊な立場から健全財政を維持しているが、現在進めている大型プロジェクト(マリンワールド整備、高速通信網整備)が数年後に完成を迎えることから、それら施設の維持経費がさらに増加することが予想され、経常収支比率も上昇することが予想される。今後は、事務事業の取捨選択等の見直しを更に進め、経常経費の削減に努めていく。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
類似団体に比べ著しく高くなっているのは、主に物件費(201,630円)が要因であり、特に施設の維持管理業務委託料が大きなウエイトを占めている。ただし、決算額構成比率から見ると類似団体と大差はない(本町14.4%、類似団体13.7%)。今後は、指定管理者制度等による施設管理運営経費の縮減を目指していく。
- 人口1人当たり地方債現在高**  
ほぼ類似団体の平均値となっている。今後とも後年度負担を十分に考慮し、新規発行債の抑制に努め、適正水準の確保に努める。
- 実質公債費比率**  
類似団体内においてはトップの2.1%という低い数値となっている。今後とも起債に大きく頼ることなく有利な起債のみに絞るなど、極力新規発行の抑制に努めていく。
- ラスパイレス指数**  
類似団体平均を3.3ポイント下回り、全国町村平均との比較でも4.4ポイント下回っている。国家公務員の給与に準拠して、今後も給与の適正化に努めていく。
- 人口1,000人当たり職員数**  
類似団体内において高位(比率が高い)にある。平成18年3月の町村合併によることが主な要因であると考えられる。事務事業の民間委託の推進等により職員数の純減に努めるとともに、今後は、平成19年3月公表の集中改革プランに沿った5年間で16人削減を実行し、平成27年度職員数170人を目標に職員数の適正化に取り組む。